

# 平成24年度活動報告書

## 目次

はじめに 平会長 挨拶

### I 地域情報化の推進活動

- I・1 地元企業間連携(コラボ)による国家プロジェクトの推進
- I・2 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)
- I・3 東長崎エコタウン
- I・4 ながさき地域情報化研究会(長崎県)
- I・5 長崎県 IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)
- I・6 長崎県 ICT 化推進連絡会議
- I・7 シーテックジャパン2012「長崎県」ブースへの出展 (長崎県)
- I・8 長崎市関連
- I・9 長崎県中小企業団体中央会関連

### II 交 流 事 業

- II・1 海外との交流事業(今年度 無)
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 通常総会・講演会・交流会
- II・4 我が社の一押し
- II・5 ビジネスコラボ事業

### III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)
- III・4 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度 IT 技術者養成事業人材育成研修事業」
- III・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

### IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

### V 情報収集提供事業

### VI 講演・セミナー事業

### VII 理事会(役員会)

# 平成 24 年度活動報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

## はじめに

平成24年度の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果の発現等により、夏場にかけて回復に向けた動きが見られました。しかしその後、世界経済の減速等を背景として輸出や生産が減少するなど、景気は弱い動きとなり、底割れが懸念される状況となりました。こうした状況に対し、平成25年1月に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」が策定されました。本対策による政策効果に加え、世界経済の緩やかな持ち直しが期待されることから、我が国経済は緩やかに回復していくと期待されています。

本県に於きましては、県内経済は、おおむね横ばいとなっていますが、輸出環境の改善などを背景とした企業収益や、消費者マインドの改善が見込まれるとの見込みがあります。先行きについては、経済対策の効果などを背景に、景気回復へ向かうことが期待されますが、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、雇用・所得環境の先行き、輸入物価上昇の影響などと併せて注意が必要であります。このような状況で、景気回復の期待がある中で厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、協会におきましては、4月1日付で一般社団法人として認可され、新法人として主務官庁の管理監督の下の運営から、自主運営へと移行いたしました。

新運営体制におきましても、前年度に引き続き、重点事業として研修を実施して参りました。会員皆様の課題・ニーズをもとに計画を立て、厚労省の助成金・奨励金制度と連動し実施しました結果、皆様方には、IT業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きましたので、目標の210名に対し、217名の方に受講していただくことができました。これに加え、JISA補助金による「地域高度IT技術者育成事業」として、1講座13名、九経局による「九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業」として、3講座31名、合計261名の方に受講いただき、重ねて厚くお礼申し上げます。

次に、情報提供事業では、上部団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。その中で新たにJISA補助金による「地域連携事業」として、長崎の企業様の情報化推進が経営に大きく役立つとの共有認識の下、「長崎県ICT化推進連絡会議」を県及び長崎工業会とともに立ち上げましたが、今後の実質的活動が期待されます。

また、2ヵ月毎に実施してまいりましたビジネスコラボ会には、協会役員のみならず、一般会員の方々も参加され、お互いを深く知り、信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

平成 24 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会  
会長 平 敏 孝

## I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、国家プロジェクト(補助金)へ参画して、プロジェクトを推進し、成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

### I・1 地元企業間連携(コラボ)による国家プロジェクトの推進

#### (1) 平成24年度次世代エネルギー技術実証事業(計画期間:H23年度～H25年度の3年間)

「電力需要抑制のモデル化と高自給率コミュニティの計画・運用体系化に関する実証事業」

1)実施事業者： 双日(株)、双日九州(株)、(株)双日総合研究所、(株)SIIS、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、沖コンサルティングソリューションズ(株)、People Power(株)、システムファイブ(株)、(株)ビーオルグ、ケービーソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)NDKCOM (アンダーラインは会員企業のコラボレーション)

2)協力機関： 長崎県、佐世保市、ハウステンボス(株)、長崎総合科学大学、長崎次世代エネルギーパーク運営協議会

#### 3)事業目的：

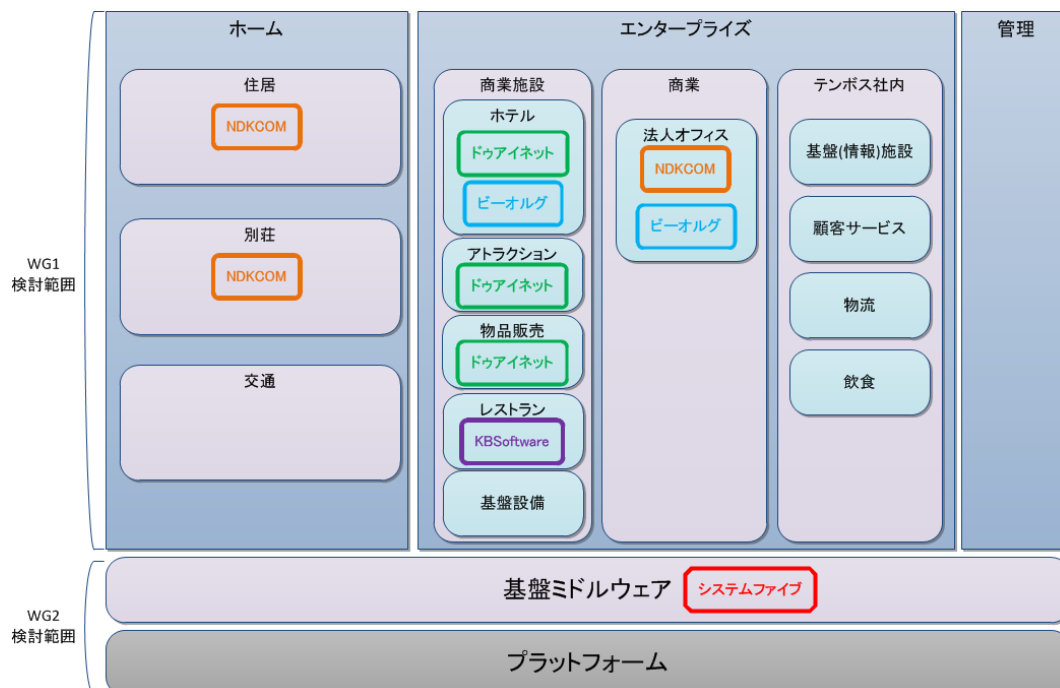
- i) 消費者に対して“見える化”にとどまらない、より積極的な行動変容を促すことで、コミュニティ全体の電力ピークカットおよび電力需給最適化を図る。
- ii) 上記仕組みをさまざまな企業(特に地元中小企業)が活用できるプラットフォームとして解放し、地元産業の促進および本実証事業終了後も継続した有効活用を図る。
- iii) 平常時だけでなく、災害時にも役に立つ情報インフラの枠組み作りを図る。

(\* P.5 I・2(3)3) 災害対応型マイクログリッドシステム 参照)

#### 4)事業内容：

- i) ユーザーの自発的な節電行動などに至る仕組みを実装したITシステム(プラットフォーム)の構築、および理想的なエネルギーシステムのキャパシティ最適化シミュレーション、経済性試算
- ii) 長崎地元企業による本プラットフォームを活用したサービス、アプリケーション開発
- iii) 災害対応メソッドを本プラットフォームに組み込み、災害時サービス/アプリケーションを検討・開発

#### 5) 地元企業の担当領域



#### 6) 本事業における3ヶ年事業目標

- i) 電力抑制達成目標: 前年度実績総使用量の10%
- ii) 総自給率達成目標: 25%(前年比+3%)
- iii) RE自給率達成目標: 11%(前年比+1%)

#### 7) 横展開スケジュール(予測・目標)

H26年度以降、電力需給最適化インフラパッケージとして、自治体、デベロッパー、ゼネコンなどに販売、またはサービス提供。

(国内:スマートコミュニティ化を目指す自治体 等

海外:双日が運営する東南アジアの工業団地やスマートシティのマスタープランを受注したデベロッパー、ゼネコン 等)

## I・2 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)

### (1)プロジェクト主旨・目的

長崎EV&ITSとは、長崎EV&ITSコンソーシアム(プロジェクト推進のため、産学官で組織した協議会)の議論を踏まえた「未来型ドライブ観光システムの構築」や「エネルギーシステムとEVに係るモデル実証」などの実施、EVを核にして情報通信ネットワーク、エネルギーネットワークが繋がった「EVスマート社会」や「長崎発世界標準」及び「長崎発地域型ビジネスモデル」を創造するプロジェクトである。

具体的には、世界遺産登録を目指す五島地域において、低炭素社会における次世代交通手段である電気自動車等(EV・PHV)と高度道路交通システム(ITS)が連動した「未来型ドライブ観光システム」を構築し、観光振興など地域活性化を図るとともに、EVを核とした情報通信ネットワーク、エネルギーネットワークが構築された「EV&ITSスマート社会」の実現を目指す。

- ・未来型ドライブ観光システムの構築
- ・交流人口の拡大
- ・離島等住民の起業家意欲の醸成と地域活性化
- ・地場産業の技術力向上と新分野進出
- ・企業誘致及び国・民間プロジェクトの誘致

### 下記ワーキンググループ(WG)： 会員企業・NISA 参加。

NISA は、県の要請により全ての WG に参画している。

#### 1)WG1 EV・充電設備関連

WG 長: (財)日本自動車研究所 FC・EV 研究部 研究主幹 三枝 省五氏

- ・関係機関: 電力事業者、自動車メーカー、充電器メーカー 等
- ・検討事項: i) EV 導入・利用計画、ii) 充電設備スペック、配電計画  
iii) EV と ITS の連携(CAN I/F 等) 等

#### 2)WG2 ITS インフラ関連

WG 長: 国土交通省長崎河川国道事務所 所長 門間 俊幸氏(WG2長代理)

- ・関係機関: 電気メーカー、通信機メーカー 等
- ・検討事項: i) ITS 車載器スペック、ii) 多言語対応、iii) DSRC、テレマティクス、活用場面整理  
iv) 決済サービス(ETC 等) 等

#### 3)WG3 コンテンツ関連

WG 長: 長崎県立大学 国際情報学部 教授 森田均氏

- ・関係機関: 市町・県、地元企業・団体、情報関連企業、観光関連企業 等
- ・検討事項: i) ニーズ把握、ii) サービス定義、フォーマット化、iii) コンテンツ整理  
iv) 地域情報の収集・提供等の運用方法 等

#### 4)WG4 エコアイランド関連

WG 長: 慶応義塾大学 理工学部 准教授 西 宏章氏

- ・関係機関: 市町・県、電力事業者等
- ・検討事項: i) 太陽電池、マイクログリッド研究の推進 等

### (2)長崎EV&ITSプロジェクト推進事業「地元事業化」に対する長崎県の施策

長崎県では、地元企業のEV関連産業への参入を支援するために、下記事業を創設。

これらの事業により、地元企業が具体的な活動を展開している。

#### 1)地元企業化検討会議 参加団体61団体、新規参入募集中

#### 2)事業化可能性調査委託事業

EV、充電設備、ITS等の関連分野における研究開発、事業化、商品化を行うにあたり、事前に必要な市場調査、事業化可能性調査を委託事業として実施:委託費上限 3,000千円

#### 3)事業促進事業

EV、充電設備、ITS等の関連分野における製品の研究開発、試作品開発等を行うために必要となる経費助成の一部を助成:補助率 3/4、補助金限度額 8,000千円

**(3) 地元企業のEV関連産業への参入状況**

- 1) 急速充電ネットワークシステム開発(WG1) 協和機電工業
- 2) 観光情報プラットフォームシステム開発(WG3) ランカードコム、扇精光、ドウアイネット
- 3) 災害に強いグリーンパワー複合型マイクログリッドシステムの長崎モデルに関する事業化可能性調査(WG4) 協和機電工業、MHIコントロールシステムズ、システムファイブ  
災害時に避難所となる道の駅「遣唐使ふるさと館」に太陽光・風力発電施設を導入するとともに、これまでEV(電気自動車)&ITS(高度道路交通システム)プロジェクトにより整備したEV関連インフラを活用し、災害時には機能を維持すべき拠点への電力供給を行う。

**(4) 情報コンテンツ関連 WG3 の開催状況報告** H24 年度の開催状況は下記の通り。NISA 参加。

- 1) 第 1 回 情報コンテンツ関連 WG3 H24-9-21(金) 14:00~16:00  
会 場 五島市役所  
i) 本年度の予定議題・スケジュール、ii) PF の体験を踏まえた評価、iii) PF の今後の活用方策改善内容について、iv) 提供方法(IP/非 IP)の違いによる提供する情報について

**(5) WG2/WG3 合同会議の開催状況報告** H24 年度の開催状況は下記の通り。NISA 参加

- 1) 第 1 回 WG2/WG3 合同 H24-11-15(木) 15:30~17:00  
長崎会場 長崎県立大学シーボルト校 特別会議室  
東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階セミナー室
- 2) 第 2 回 WG2/WG3 合同 H25-1-17(木) 16:00~17:30  
長崎会場 長崎県立大学シーボルト校 特別会議室  
東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 北館大会議室

**(6) 長崎EV&ITSプロジェクト「地元事業化検討会」 会議・セミナー**

- 1) 第 6 回会議 H24-7-4(水) 15:00~17:30、出島交流会館9階展示交流室  
i) 長崎EV&ITSプロジェクトの現状と展望  
ii) 県 EV プロジェクト推進室からの支援事業紹介  
iii) 今年度の地元事業化検討会の進め方について
- 2) 7 回会議(セミナー) H24-11-26(月) 14:00~17:40、出島交流会館9階展示交流室  
i) 第 1 回テーマ別グループ会議  
・目的、運営について説明/取組み紹介、課題抽出など  
ii) 講演: 「自動車部品業界における電動化への取組みについて」  
(株)ジェイテクト 研究開発本部電子システム研究部電子要素研究室 室長 瀬川 雅也氏
- 3) 第 8 回会議(セミナー) H25-2-12(火) 14:00~17:40、出島交流会館9階展示交流室  
i) 第2回 EV/PHV 関連 テーマ別グループ会議  
・車両の製作、部品調達や技術提携など具体的な課題について  
ii) 講演: 「中国における電気自動車産業の育成と事業化の実情紹介」  
(有)エーエムクリエーション 代表取締役社長 松田 篤志氏  
(中国科学院 深セン先進技術研究院 電動汽車研发中心 研究員教授)
- 4) 第 9 回会議(セミナー) H25-3-12(火) 14:00~17:40、出島交流会館9階展示交流室  
i) 第3回 テーマ別グループ会議 情報ネットワーク関連グループ  
・長崎みらいなびのデモンストレーション、体験、講演内容を踏まえた今後の ITS やナビゲーションに関する意見交換  
ii) 講演: 「位置情報ビジネスの最新動向」  
(株)ゼンリンデータコム 取締役会長 林 秀美氏

**I・3 東長崎エコタウン (HP より)****(1) 東長崎エコタウン協議会 … NISA 会員****1) 設立趣旨**

長崎総合科学大学が持つ「環境エネルギーの創出、蓄電、制御技術」等の研究成果を積極的に社会貢献、地域貢献に生かす為、東長崎地区で行う「次世代エネルギーの地産地消」、「環境に優しく安全・安心なまちづくり」に関する調査・研究・実証試験の支援を目的とする。

これに賛同する関連企業、団体、地域自治会、大学、行政機関等、各界各層の英知を結集し、長崎県内はもとより、全国のモデル地域となり得るような先駆的取組みを目指す。

## 2) 役員等

	氏名	所属	
会長	山邊 時雄	長崎総合科学大学 新技術創成研究所 所長	
副会長	佐藤 康彦	システムファイブ(株) 代表取締役	
幹事	福田 進	橘中学校区自治会連合会 副会長	
	渡邊 一則	東長崎地区自治会連合会 副会長	
	武本 家彦	矢上校区自治会連合会 副会長	
	山下 政郎	(株)東洋ガス 代表取締役	
	江藤 春日	(株)MHI コントロールシステムズ 主幹	
	川浪 義光	(株)アパール長崎 代表取締役	
	吉田 博久	協和機電工業(株) 技術統括	
	都々木信吾	長崎市 産業雇用政策 課長	
	植田 勝征	(財)長崎県産業振興財団 技術統括	
	今泉 泰史	長崎県中小企業団体中央会 工業振興課 主事	
	谷本 和明	長崎総合科学大学 教授	
	田中 義人	長崎総合科学大学 教授	
	田中 俊彦	長崎総合科学大学 教授	
	監査	末光 進	NPO 産業推進機構長崎 事務局長
	事務局長	池上 国広	長崎総合科学大学 産官学連携センター長
事務局	川竹 成稔	長崎総合科学大学 産官学連携センター	
オブザーバー		長崎県 産業労働部 産業技術課	
		長崎県 産業労働部 グリーンニューディール推進室	
		九州電力(株)長崎お客さまセンター	

## 3) NISA の会員

(株)NDKCOM、(株)MHI コントロールシステムズ、扇精光(株)、九州教具(株)、システムファイブ(株)、(株)ドウアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)ビーオルグ、富士通(株) 長崎支店

## 4) 部会

### i) インフラ部会 (座長: 谷本和明)

電力網等の基盤整備を進める上で、行政上の問題や、法規制等、或いは国への助成申請などの視点から、実現可能性を検討する、主に行政・関係団体を中心としたグループ。

### ii) シーズ部会 (座長: 田中義人)

技術シーズを集約し、技術適用性の具体化、設計、実現可能性を検討する、主に産業界を中心としたグループ。

### iii) ニーズ部会 (座長: 田中俊彦)

町の特徴にあったものや地域からの要望を検討する、主に地域住民を中心としたグループ。

## (2) 東長崎エコタウン構想

東長崎地区に、低炭素社会に向けた未来型エコタウンをつくり、実証実験を行うことを目的。

### 1) CO<sub>2</sub>と廃棄物の発生が少ない町 → スマートグリッド技術

- ・下水処理の汚泥からのメタンガスによる発電
- ・バイオマスからのメタンガス、エタノールによる発電
- ・公園、家屋の屋根のソーラー発電

### 2) 人と自然と技術が共生する町

### 3) 安心して暮らせる町を目指し、地域の住民、企業、自治体、大学が共同した研究プロジェクトの立上げ

## (3) 補助金事業

### 1) 国土交通省:「温室効果ガスを排出しない次世代型下水汚泥固形燃料化技術」採択

下水汚泥を水熱処理及びメタン発酵処理する技術で、一連の過程で温室効果ガスはほとんど排出しない。タンガスはプラント設備稼働の燃料として利用し、固形燃料は発電施設の燃料や肥料として使用することができる。実証実験は全国に先駆けて行われるもので、三菱長崎機工(株)がプラントを設計・建設し、長崎市が

維持・管理、長崎総科大学は実験によって得られたデータの解析・検証をするなど産学官が連携して行う。「CO2と廃棄物の発生が少ない町」づくりにもつながる事業であり、その成果が期待される。

## 2) 文部科学省:「緑の知の拠点事業」に『東長崎エコタウン構想』採択

2011年からの3年間で1億2千万円をかけて、省エネ住宅といった消費施設などを設置し、電力供給網を整備。太陽光やバイオマス、潮流などのエネルギー源で、どの程度の発電ができるかを計算し、それを実験で明らかにしていくことによって、再生可能エネルギーの実用化を目指している。

## (4) ENEハウス(スマートハウス)の研究

ENEハウス(スマートハウス)は、地域の特性を生かし、住宅のシェルター(躯体)性能の向上、居住者の長期的にわたる快適性と健康、安全性、利便性、さらには経済性に貢献できる省エネ住宅として開発、そのために必要な要素技術の研究を行う。また、省エネルギーを図ることを目的とした電源制御などに関するスマートグリッドを構築するため、実用的な知見(システム構成技術や応用技術)を得るために行う。検証するデータは、消費電力量、発電量、蓄電量、温度、湿度、気流、日射、光量、断熱性、気密性、空気環境、ガス使用量、水道使用量で、HEMSを通して数値化し、さらに、家庭内における、電力の見える化、電力供給の制御、家電のシミュレーションなどの実証実験を行う。

## I・4 ながさき地域情報化研究会(長崎県) : 石橋直前会長 出席

県内の産学官が連携し、地域の情報化に関する活動等を行う組織である

### (1) 第1回会議 H24-5-31(木) 16:30~17:40 県庁大波止ビル

出席者:長崎県情報産業協会 石橋会長、長崎経済同友会 石丸企画委員長、長崎新聞社 今福報道本部長 兼 メディア編集部長、長崎県立大学 河又准教授、県総務部 島村 政策監、長崎大学 中村准教授、長崎総科大 横山教授

事務局:(県情報政策課)橋口課長、有吉係長、係長、中村主事

議事:

- i) 研究会の事業内容について
- ii) 研究会の財産について
- iii) ながさき地域情報化研究会 規約の制定について
- iv) 会長、副会長、監事の選任について  
会長 横山 正人/副会長 河又 貴洋/監事 石丸 利行
- v) 今年度のマッチング事業について

### (2) ICTめぐり合い相談会(農業)

目的:農業分野へITを活用してできることを提案し、営農者からの要望を受け、共同プロジェクトへの足掛かりとする。

#### 1) 第1回

- i) 日 時:H24-11-5(月) 14:00~16:30 終了予定
- ii) 会 場:長崎県市町村会館 6階中会議室(長崎市栄町4-9) ※終了後夕刻より懇親会。
- iii) 提案企業:(プレゼンを実施) 扇精光(株)、(株)協和エクシオ、富士通(株) 長崎支店、日本電気(株)
- iv) 農業生産者:農業法人協会の担い手組織「ながさき次世代研究会」のメンバーの中の生産者
- v) 参加企業:(プレゼン終了後、農業関係者と意見交換)8社(全てNISA会員)
- vi) 相談会の時間に充てる予定。

#### 2) 第2回

- i) 日 時:①H25-2-7(木) 13:30~21:00  
②H25-2-8(金)9:30~11:30
- ii) 会 場 島原市立杉谷公民館 大ホール(〒855-0071 長崎県島原市宇土町乙687番地1)
- iii) 内容:①提案企業4社プレゼン / 農業生産者より課題提起・質疑応答  
②2 農業法人視察

## I・5 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略) : 会長 佐藤 康彦

「九州地域組込みシステム協議会(ES-Kyushu)」が「九州IT融合システム協議会(ES-Kyushu)」に改称したので、「長崎組込みソフト研究会(ES-Nagasaki)」も改称し「長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)」とした。

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援

すべく、H22年6月に結成、活動を開始、下記のWG(ワーキンググループ)を結成。

目的は、県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- ①地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- ②企業による県等の補助金申請書作成への支援
- ③関連情報の提供とパートナーの紹介
- ④長崎県内／九州域内のネットワークを通じた支援

- 1)WG-1 農水工連携WG (主)川添(NET-C)、(副)川下(佐世保高専)
- 2)WG-2 メディカルサービスWG (主)佐藤(システムファイブ)、(副)下島(総科大)
- 3)WG-3 グリーンエネルギーWG (主)江藤(MHIコントロールシステムズ)、(副)田中(総科大)
- 4)WG-4 Android 応用技術WG (主)深堀、(副)蒲原(総科大)

(注)主リーダーは企業関係者、副リーダーは学校関係者

## (1)IT融合化講演会 in Nagasaki の開催

H24-12-6(木)、ホテルセントヒル長崎

### 1)基調講演

長崎大学医歯薬学総合研究科 本多 正幸 教授(兼)長崎大学病院医療情報部部長

### 2)「ITS」の今後と交通観光への展開

講師:西鉄情報システム(株) 浦 正勝 部長

### 3)「医療・福祉」

i) パーソナルヘルスケア&コンティニューアヘルスアライアンス

講師:インテル(株)事業開発部 田上 信介 部長

ii) 地域医療情報連携 15:25~16:00

講師:メディカルアイ(株) 山口 典枝 社長

iii)「エネルギー」「ITS」「医療・福祉」を見据えたIT 融合化

講師:長崎総合科学大学 田中 義人 教授

### 4)パネルディスカッション

ファシリテータ 田中 義人 教授

パネラー	・長崎大学医歯薬学総合研究科	本多 正幸 教授
	・西鉄情報システム(株)	浦 正勝 部長
	・インテル(株)事業開発部	田上 信介 部長
	・メディカルアイ(株)	山口 典枝 社長
	・システムファブ(株)	佐藤 康彦 社長

・主催:長崎県IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)

・共催:長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)  
一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、  
東長崎エコタウン協議会(ENEC)

## (2)「IT融合化講演会 2013 ~ビッグデータの活用~」開催

H25-2-1(金)、出島交流会館9F

### 1)演題「我が国の産業活性化に向けたビッグデータの活用」

講師 稲田修一氏 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授

・主催:長崎県 IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)

・共催:長崎県、一般社団法人 長崎県情報産業協会(NISA)

## I・6 長崎県ICT化推進連絡会議(敬称略) :会長 平 敏孝

JISA 補助金による地域活性化事業のうち、「地域連携事業」の一環として、県・長崎工業会・NISA を中心として設立した。

この事業を通して、地域におけるベンダー・ユーザー・IT コーディネーター・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域IT 化のためのプロデュース及びコーディネートの機能強化を図り、地域自らが「自立自走」の精神でIT の「地産地消」を実現する。

### 1)背景



- i) 長崎県における中小企業の情報化推進が経営の改善に大きく役立つこと認識してもらい、現状業務の効率化に十分に達成することが重要課題である。
  - ii) 経営環境の大きな変化は、地場企業、ICT 業界共に経営戦略の見直しを余儀なくされている。
  - iii) 長崎の ICT 業界は、地場企業の ICT 戦略の担い手としての認知度も低く、地場企業との交流の場も殆どない状況である。
  - iv) クラウドサービスは今後の ICT 活用にイノベーションを起こす可能性をもっており、その活用の研究は業界として取り組む必要がある。
  - v) 地場企業の ICT 活用の推進を支援する、広範な組織・団体をまとめる場が存在していないのが現状である。
- 2) 目的: ICT ユーザー・団体、ICT 企業・団体、官公庁、金融機関が一体となり交流し、変革を推進することで各々の競争力を高め地場企業の発展に貢献する。
- i) 長崎県の中小企業の高度情報化を推進し、企業の発展に貢献する。
  - ii) ICT ユーザー業界毎の ICT 利活用の研究会を通じてユーザ、ICT ベンダーの人材育成、企業成長に貢献する。
  - iii) ICT ベンダーは、受託開発依存から脱し、地域を変革する情報サービス産業を目指す。
  - iv) クラウド活用の研究とサービスの具体化を支援する。
  - v) クラウドの利活用におけるセキュリティーに関する支援する。

## I・7 シーテックジャパン2012「長崎県」ブースへの出展（長崎県）

ビジネス & ソサエティゾーンに出展

H24-10-2(火)～6(土) 5 日間、会場 幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）

参加企業: H24 年度 参加会員企業 ランカードコム 1社

## I・8 長崎市関連

### (1) 長崎市未就職卒業生緊急支援事業

- 1) 目的: 大学(大学院含む)・短期大学・高等学校又は専門学校卒業後 3 年以内の未就職卒業生を対象に「長崎市未就職卒業生緊急就職支援事業」を実施している。  
本事業は、社会人としてのマナーや接遇等の基礎研修を行うとともに、職場実習を行うことで、就業に向けた知識や技術の習得を図り、未就職卒業生の正規雇用化を目指す。

#### 2) 事業概要:

- i) 雇用期間: H24-6-18～12-17 日(予定)
- ii) 対象: H24-3 に大学(大学院も含む)、短大、専門学校、高校等を卒業した未就職者(雇用時点で過去 3 年以内の既卒者も対象)
- iii) 補助(待遇): OFF-JT および OJT 期間中は下記の給与が支払われる。  
7,005 円(日給) + 交通費 iv) 補助率: 2 分の 1 以内
- iv) 内容: ①基礎・実践研修(OFF-JT): 約 2 ヶ月、②企業での就業体験(OJT): 約 5 ヶ月、  
③フォローアップ研修

なお、本事業については、マンパワーグループ株式会社 長崎支社に委託

### (2) 長崎市経済振興会議の委員(須藤理事)

担当部署: 長崎市経済局商工部 産業雇用政策課

目的: 平成 23 年 3 月に策定した「第二次長崎市経済成長戦略」(重点コンセプト: 造船・水産・観光)に基づく経済振興において、実務的立場から施策を検討し、意見や提言を具体的な施策へ反映させる。

構成委員: 6 名

- 1) 第 1 回、H24-8-23(木) 14:00～、長崎歴史文化博物館研修室
  - i) 今後の経済振興施策について
  - ii) H25年度以降の取組みについて(説明)
- 2) 第 2 回 H24-11-14(水) 14:30～、メルカ築町5F
  - i) 今後の経済振興施策について

## I・9 長崎県中小企業団体中央会関連(敬称略)

- (1)「ジョブ・カード制度」説明会 H24-12-19(水) 15:00～15:20、NISA 研修室

ジョブ・カードを活用した職業訓練通じ、有能な人材を育成・確保したい企業と正社員として経験の少ない求職者や新規学卒者とのマッチングを促進する国の制度の説明

長崎県中小企業団体中央会 総務情報課 係長 野村 正人

長崎地域ジョブ・カードセンター 室長 音瀬(おとなぎ) 邦雄

## (2) 中小企業景況調査

- |                                      |      |            |              |
|--------------------------------------|------|------------|--------------|
| 1) 平成 24 年度 第 1 四半期 (H24 年 04～06 月期) | 調査期間 | 5/30～6/5   | (調査時点 5/31)  |
| 2) 平成 24 年度 第 2 四半期 (H24 年 07～09 月期) | 調査期間 | 8/13～8/31  | (調査時点 8/30)  |
| 3) 平成 24 年度 第 3 四半期 (H24 年 10～12 月期) | 調査期間 | 10/26～11/9 | (調査時点 10/31) |
| 4) 平成 24 年度 第 4 四半期 (H25 年 01～03 月期) | 調査期間 | 2/25～ 3/5  | (調査時点 2/28)  |

## II 交 流 事 業

### II・1 海外との交流事業 (今年度 無)

### II・2 他団体・大学等との交流事業 (敬称略)

#### (1) ANIA 通常総会と関連行事 (敬称略) H24-7-5(木)

東海大学交友会館 出席者: 平会長、石橋直前会長、事務局長、直前事務局長  
・石橋洋志理事の後任として、平敏孝会長が理事に選任された。

##### 1) 通常総会 16:00～16:40

議案 i) 平成 23 年度事業報告・収支決算報告、ii) 平成 24 年度事業計画・収支予算、iii) 理事の選任について

##### 2) 講演会 H24-7-5(木) 17:00～17:40

##### i) 演題1 『地域中小企業のIT活用促進に向けて』

講師 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 小林 信彦

##### ii) 演題2 『総務省の地域情報化施策 ～電子自治体関連施策を中心に～』

講師 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 西泉 彰雄

##### 3) 懇親会 H24-7-5(木) 18:00～19:30 東海大学交友会館 レストラン けやき

#### (2) 第 34 回 全情連大会「ANIA 宮崎大会」への参加 (敬称略)

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 (略称: ANIA) では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成 24 年は、「宮崎」の地で開催された。

NISA 出席者: 6 名 (平会長、石橋前会長、浜本副会長、須藤理事、事務局長、前事務局長)

開催: 平成 24-11-8(木)～9(金)、フェニックス・シーガイア・リゾート

次回開催: H24 年度 ANIA 全国大会は宮崎で開催することを今回の理事会で決定、大会で発表された。

##### 1) ANIA 大会式典 H24-11-8(木) 13:30～14:30

##### i) オープニングムービー

ii) 開催挨拶 (一社)宮崎県情報産業協会 会長 川崎 友裕

iii) 主催者挨拶 (一社)全国地域情報産業団体連合会 会長 中村 真規

##### iv) 来賓挨拶

宮崎県 知事 河野俊嗣

宮崎市 副市長 金丸健二

経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 小林信彦

総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 岩城宏幸

済州国際都市自由開発センター、先端科技研 所長 キムヨンソク

##### v) 表彰 優秀役員表彰 2 名

①(一社)長崎県情報産業協会 前会長 石橋 洋志

②(一社)宮崎県情報産業協会 会長 川崎 友裕

##### 2) 基調講演「世界の IT 業界潮流～グローバル化と BPO との融合でビジネスを変革する」

講師 ル フィリップ アクセンチュア(株)

##### 3) 講演「古事記と日向神話」 甲斐 亮典 宮崎県文化保護審議会会長、宮崎市文化財審議会会長

##### 4) 懇親会 (17:45～20:00)

i) 開宴挨拶 (一社)宮崎県情報産業協会 会長 川崎 友裕

ii) 来賓ご挨拶 九州経済局 地域経済部部長 平井 淳生

宮崎県 商工労働観光部次長 成合 修

- iii) 乾杯 (一般)全国地域情報産業団体連合会 会長 中村真規
- iv) 中締め挨拶 (一社)宮崎県情報産業協会 渡辺得祥副会長

### (3) ANIA 新春交流会(東京サテライト展示交流会)

H25-2-7(木) 18:15~20:00 東海大学校友会館「三保の間」、霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階  
 Nisa8 名出席: 浜本副会長(代理: 神奈川事業所長 取締役所長 原田 学)、須藤交流委員長、  
 東京に本社又は支店・営業所を持つ会員の(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦氏、  
 (株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資氏、同 東京本社 技術部 マネージャー 千原  
 真紀氏、事務局長  
 ・東京サテライト展示交流会への出展: 無

### (4) ANIA 理事会

石橋直前会長(6月まで)、平会長が7月 ANIA 総会で石橋理事に代わり新理事となり出席、事務局はオブザーバー出席。

- 1) 第1回理事会 H24-5-25(火) 15:00~17:00 八重洲倶楽部(5会議室)  
 石橋会長 出席、出席理事6名(理事数11名)  
 i) 平成23年度事業報告及び収支報告、ii) 平成24年度事業計画及び収支計画  
 iii) 総会の件、iv) 全国大会の件、v) 理事変更について、vi) 相互入会について
- 2) 第2回理事会 H24-9-6(木) 14:00~16:00 八重洲倶楽部(6会議室)  
 平会長 欠席、事務局長オブザーバー出席。出席理事6名(理事数11名)  
 i) 新入会員の7承認について、ii) 全国大会について、iii) 新春交歓会について
- 3) 第3回理事会 H24-11-8(木) 11:30~12:30 シーガイヤコンベンションセンター オーチャード  
 平会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事6名(理事数11名)  
 i) 宮崎大会について、ii) 韓国 JDC の紹介、iii) 新春交歓会について  
 iv) 来年の全国大会について
- 4) 第4回理事会 H25-2-7(木) 16:00~17:40 東海大学校友会館「相模の間」  
 事務局長オブザーバー出席。出席理事6名(理事数11名)  
 i) H25年度理事監事選任方法の決定について、ii) H26、27年度の全国大会の要請について  
 iii) H25年度定期総会開催日・場所について、iv) 全国地域情報産業団体連合会賞の新設について、  
 v) 情報セキュリティコンクール各協会賞の新設について、

### (5) ANIA 事務局長連絡会議 事務局長 出席

- 1) 第1回事務局長連絡会議 H24-7-6(金) 9:30~12:00 ミーティングプラザ新橋、出席18名  
 Nisa 新事務局長・直前事務局長出席  
 i) 各県より現状及び協会活動等の件 ii) 宮崎大会について iii) 個人情報保護士について
- 2) 第3回事務局長連絡会議 H24-11-7(木) 10:00~11:00  
 シーガイヤコンベンションセンター・オーチャード 3階 出席17名  
 i) 宮崎大会事務連絡事項 ii) 各協会の状況報告資料に対する質疑応答  
 iii) H25年新春交歓会について iv) 来年の全国大会について
- 3) 第4回事務局長連絡会議 H25-2-8(金) 9:00~12:00 八重洲倶楽部、出席14名  
 i) 各県より現状及び協会活動等の件 ii) 農業 IT カンファレンスについて  
 iii) 全国共通アンケートについて iv) 会費以外の収益事業について
- 4) 関連する省庁、団体、施策等
  - i) 総務省地方情報化推進室
  - ii) 全国地域情報化推進協会
    - ① 第1回 合同部会 H24-6-15(金) 13:00~16:00 八重洲倶楽部、会員企業11名  
 a) 正副部長選出、b) APPLIC委員会担当選出、c) 視察事業検討総務省
    - ② 第2回 合同部会 H24-7-6(金) 13:00~15:00 コンピュータソフトウェア協会、会員企業15名  
 a) 講演: ミャンマーの現状と課題(BAJ理事 束村氏)、b) CHISA事業企画部会の取組紹介、  
 c) 各部会長報告
    - ③ 第3回 合同部会 H24-9-27(木) 14:00~16:00 八重洲倶楽部、会員企業12名  
 a) 総務省 今川課長講演・意見交換
    - ④ 第4回 合同部会 H25-3-13(水) 15:00~17:00 八重洲倶楽部、会員企業12名  
 a) 総務省 今川課長講演・意見交換、b) 情報サービス産業部会長選出

### iii)第1回農業ITカンファレンス」の開催

H25-2-6(水) 13:15~17:35 さいたま新都心合同庁舎 1号館 セミナー合同庁舎 1F 多目的室  
 セミナー:(株)大和コンピューター、四国 IT 農援隊、(株)日の丸産業社、(株)オネスト、NPO 法人地域  
 企業活性化支援協会、(株)ウォーターセル、(株)イーエスケイ、グローバル・コミュニケーションズ  
 主催:(社)徳島県1情報産業協会、四国IT農援隊  
 後援:四国経済産業局、(社)高知県情報産業協会、愛媛県情報サービス産業協議会、香川県情報  
 サービス産業協議会

### (6)JISA 九州・沖縄支部会(福岡)(敬称略) H24-12-7(金) 14:00~18:30 平会長出席 ホテルニューオータニ博多

- 1)会議 3F「ローズルーム」14:00~
  - i)開会 主催者挨拶 九州・沖縄地区代表幹事 中川 正裕
  - ii)JISA 副会長挨拶 情報サービス産業協会 九州・沖縄地区担当 五十嵐 隆
  - iii)経済産業省の情報政策について  
 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐 横田 一磨
  - iv)JISA 本部報告 副会長・専務理事 河野 憲裕 氏
  - v)講演 テーマ『これからの日本と国民のあり方~天皇陛下のお言葉に込められた思い~』  
 講師 皇室ジャーナリスト 高清水 有子
- 2)情報交換会(3F アイリス) 17:00~18:30

## II・3通常総会・臨時総会・講演会・交流会 (敬称略)

### (1)第19回通常総会 H24-6-28(金) 15:00~16:30 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 33名、委任状 30名、合計 63名(総正会員 65社)

#### 2)議題

- i)第1号議案 議事録署名人の選任の件
- ii)第2号議案 平成23年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
- iii)第3号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- iv)第4号議案 その他の案件

#### 3)報告

- i)新役員体制の発表とご挨拶(前会長、新会長)
- ii)平成24年度事業計画
- iii)平成24年度収支予算書(正味財産ベース)
- iv)公益目的支出計画における公益目的額の確定
- vi)事務局体制の変更報告(前事務局長 挨拶、新事務局長 挨拶)

### (2)第19回通常総会 講演会 H24-6-28(金) 16:40~17:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題:『マイクロソフトのクラウドビジネスへの取組みと『Office 365』を活用したビジネス革新』  
 《詳細はP.18、VI講演・セミナー事業(2)・2を参照》

2)講師(敬称略):日本マイクロソフト株式会社

SMB 営業統括本部 クラウドパートナー営業本部 本部長 小山 剛司

3)聴講者 :70名(会員 62名+非会員 8名)

### (3)新年度 会員交流会 H24-6-28(金) 18:00~20:15 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

参加者:62名(会員 54名+来賓 8名)

### (4)新春講演会 H25-1-25(金) 16:10~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題:『東日本大震災からの復興と事業継続計画(BCP)について』

《詳細はP.18、VI講演・セミナー事業(2)・3を参照》

2)講師(敬称略):西日本電信電話(株) 長崎支店 法人営業部長 宮本 浩人

西日本電信電話(株) 法人営業本部 ソリューションビジネス部

地域ITC推進 グループ 担当部長 末吉 政宏

(株)NTTドコモ 九州支社 長崎支店 技術サービス部長 濱田 景明

3)聴講者 :92名(会員 64名+非会員 28名)

- (5)新春産学官交流会 H25-1-25(金) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」  
参加者:総数 82 名(会員 58 名+来賓 24 名)

## II・4 我が社の一押し

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

- (1)6月:通常総会時(敬称略) :H24-6-28(金)  
1)システムファイブ(株)「”看護記録支援システム suisuiNURSE”」  
発表者 林 雅浩
- (2)1月:新春産学官交流会開催時(敬称略) :H25-1-28(金)  
1)㈱ユースフル「省人・省エネ対策のシステム」  
発表者 技術営業課 荒木 泰道
- 2)リコージャパン(株)長崎支社  
「クラウドを活用したリコーのユニファイドコミュニケーション統合ツールについて」  
発表者 ソリューショングループ アシスタントマネージャー 吉田 健二

## II・5 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

- 1) 第14回 H24-8-30(水) 18:30~20:00 《安楽子》  
2) 第15回 H24-10-26(木) 18:00~20:00 《祥満 司清》  
3) 第16回 H24-12-19(金) 18:00~20:00 《花れんこん》

## III 研修事業

### III・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成20年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成24年度は、皆様からのアンケート結果を反映し27講座(うち遠隔研修3講座)を設定し、うち5講座は中止したが受講者は目標であった200人を上回り、217人になり所期の目的を達成した。

受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げます。

本事業は、NISA一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、市村副研修技術委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いたFSC、FLMにも感謝申し上げます。

	講座名	開講日	日数	受講者数
技術系初級	ネットワーク技術の基礎	4/12・13	2	11
	Javaによるオブジェクト指向プログラミング	5/29・30・31	3	14
	データベース技術の基礎	6/7・8	2	9
	システム設計技術 開発技法編	7/4・5・6	3	6
	システム設計技術 ワークショップ編	7/11・12・13	3	2
ヒューマン系	IT技術者のためのチームビルディング	11/15・16	2	中止
	現場力養成!若手社員の仕事術	5/17・18	2	14
	IT技術者のためのドキュメンテーション	6/14・15	2	14
	問題解決スキルを高める「システム・シンキング」	8/9・10	2	12
	IT技術者のためのリーダーシップ	9/6・7	2	6
	IT技術者のためのコミュニケーション	10/17・18・19	3	7
	システム開発におけるレビュー技法	12/6・7	2	17

	IT 技術者のためのネゴシエーション	1/16・17・18	3	中止
	プロジェクト管理	2/13・14・15	3	6
技術系	業務分析設計概説	7/26・27	2	19
	業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング	8/1・2・3	3	8
	Android アプリケーション開発技法	8/22・23・24	3	10
	プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎	9/13・14	2	15
	最新 Web アプリケーション開発 (HTML5JavaScript、CSS3)	9/ 25・26・27	3	13
	クラウドシステム構築	10/24・25	2	5
	OOA オブジェクト指向 (モデル化技法:UML 入門)	11/8・9	2	中止
	OOA によるシステム分析・設計	11/20・21・22	3	中止
	ネットワークセキュリティ	12/20・21	2	7
	テストと品質	2/26・27・28	3	6
(初級)	オブジェクト指向基礎 [遠隔研修]	7/24・25	2	中止
	C 言語プログラミングの基礎 [遠隔研修]	7/18・19・20	3	5
	LAN/WAN の要素技術 [遠隔研修]	6/1	1	11
	合 計		65 日	217 名

### Ⅲ・2 JISA 補助金による研修

JISA からの補助金「地域高度 IT 技術者育成」で下記を計画し、(1)を実施した

#### (1)PHP 5.x による Web アプリケーション開発

H25-1-30・31(水・木) Nisa 研修室 受講者 13 名

#### (2)Objective-C によるアプリケーション開発(中止)

H25-2-7・8(木・金) Nisa 研修室

### Ⅲ・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)

H24-4-9(月)～5-29(火)(30 日間) Nisa 研修室 受講者 6 名

「助成金を活用した組込み技術者研修で業界No.1」のイーソルエンベックス社とのタイアップにより、「成長分野等人材育成支援制度奨励金(経費助成)」および「キャリア形成促進助成金(賃金助成)」を適用して、H24 年度の新入社員研修を NISA 研修室で 4 月 9 日～5 月 29 日(30 日間)まで実施した。奨励金の活用により、本研修は企業負担無く実施できた。

### Ⅲ・4 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度 IT 技術者養成事業人材育成研修事業」

#### (1)サーバー仮想化環境構築

H24-10-4・5 (木・金) NISA 研修室 受講者 11 名

#### (2)ファシリテータ養成

H24-10-10・11 (木・金) NISA 研修室 受講者 8 名

#### (3)クラウドプログラム実践

H24-11-1・2 (木・金) 県労働福祉会館 受講者 8 名

・本研修事業は、九州経済産業局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度 IT 技術者養成事業人材育成研修事業」として実施した。

・主催:熊本ソフトウェア(株)、

・共催:(一社)長崎県情報産業協会(NISA)

### Ⅲ・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

#### (1)研 修

**1) 組込みソフト技術研修 [長崎県職業能力開発協会]**

i) 組込み入門コース H24-11-17(土)・18(日)・24(土)・25(日)

モータ制御及びPID制御の基礎を学習し、シミュレーションやロボット制御の実践を通して演習を行うことで、組込み技術の理解を深める。

ii) 電子デバイスコース H24-12-1(土)・2(日)・8(土)・9(日)

組込みで使用される電子デバイス概要、デジタル回路について基礎的な学習。SH2が搭載された学習ボードを使用し、IO、シリアル通信、LCD表示、AD変換を実践。

iii) 組込制御プログラミングコース H25-2-23(土)・24(日)・3-2(土)・3(日)

リアルタイムOSを使った高度な組込プログラミング実習。SH2の学習ボードとTOPPERSを使用した実践的学習。

いずれも10:00～17:00(6時間/日)

iv) 定員 各コース15名

v) 場所 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 5号館1階 コミュニティスペース

**2) 3次元サーフェス設計技術(CATIA)研修 [長崎県職業能力開発協会]**

(経済産業省地域企業立地促進等事業費補助金事業)

地場企業・新規創業企業及び誘致対象企業において求められる産業人材を育成するために実施

i) 期間 H24-9-29(土)・10-6(土)・7(日)・13(土)・14(日)・20(土) 9:30～16:30 (1日6時間)

ii) 場所 長崎大学 工学部1号館2階 第3講義室

iii) 定員 20名

iv) 内容 CATIAの応用操作を理解、実践的な機能の使用法・3次元プリンタを使って造形物を作成・サーフェス設計技術を習得

**3) 3D映像シミュレータ研修 [長崎県職業能力開発協会]**

(長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)

「高度人材養成業務」を行い、地域における有能な人材の養成支援を行うために実施

i) 期間 H24-11-24(土)・12-1(土)・12-2(日)・15(土)・22(日) 10:00～17:00 (1日6時間)

ii) 場所 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 17号館4階 情報デザイン実習室

iii) 定員 10名

iv) 内容 Premiereの概要、3次元CG制作のワークフロー、アニメーション制作、Dreamweaverによるウェブサイトの作成、ftpサーバの管理方法を学習。

**4) 3D CAD (金型設計)研修 [長崎県職業能力開発協会]**

金型設計の基礎を学習し、製造業に携わる方、その職種に興味のある方のスキルアップを目指す

i) 期間 H24-11-10(土)・17(土)・24(土)・12-1(日)・8(土) 10:00～18:00 (1日7時間)

ii) 場所 長崎大学 工学部3階オープンラボ8号室

iii) 内容 SolidWorks基本操作、モデリング機能、3次元プレス設計、ダイセット作成手順の習得。

**5) データセンター実務研修 [長崎県職業能力開発協会]**

i) 期間 H25-2-4(月)～8(金) 9:30～16:30

ii) 定員 15名

iii) 場所 (株)アルテック情報システム 平野町セミナールーム

iv) 内容 データセンターに習熟した人材を創出するための技術研修として、業務に必要なネットワーク運用管理技術等の知識の習得及び機器の設定方法などを学習。

**6) 環境分析技術研修 [長崎県職業能力開発協会]**

i) 期間(A) H25-1-21(月)～25(金)

期間(B) H25-1-28(月)～2-1(金)

ii) 場所 長崎大学(総合教育研究棟9階・環境科学部1階)

iii) 定員 各10名

iv) 内容 環境分析技術研修は、企業における排水、廃棄物、大気質の管理に関する測定技術の習得オリエンテーション、法規制、定量操作実習。

**7) パソコン基礎講座 ITパスポート研修 [長崎県産業振興財団]**

i) 期間 H24-10-2(火)～5(金) 10:00～17:00 (1日6時間)

10:00～17:00 (1日6時間)

ii) 場所 ポリテクセンター佐世保

iii) 定員 20名

iv) 内容 コンピュータやシステムの基本構成要素とそれを理解する上で必要な知識や考え方、企業活動で使用される技術やネットワーク、セキュリティ対策の基礎的な知識を習得。

**8) 組込システム研修(初級) [長崎県産業振興財団]**

i) 期間 H24-12-1(土)・2(日)・15(土)・16(日) 10:00～17:00 (1日6時間)

10:00～17:00 (1日6時間)

ii) 場所 長崎工業技術センター

- iii) 定員 15 名
  - iv) 内容 マイコンの基礎的な動作原理、C 言語による組込システムプログラミングの習得。加速度センサなど各種センサと LED やモータなどを用いた基本・応用回路製作。
- 9) 組込みシステム研修(中級) [長崎県産業振興財団]**
- i) 期間 H25-2-9(土)・10(日)・16(土)・17(日) 10:00~17:00 (1 日 6 時間)
  - ii) 場所 長崎工業技術センター
  - iii) 定員 20 名
- 10) 3次元 CAD を活用したラピッド・プロトタイプング技術研 [長崎県産業振興財団]**
- i) 期間 H24-12-2(日) 9:00~16:00 (1 日 6 時間)
  - ii) 場所 佐世保工業高等専門学校
  - iii) 定員 10 名
  - iv) 内容 初めて3次元 CAD 用いたラピッド・プロトタイプング技術を学ばれる方を対処に、レーザー スキャナや3次元プリンタを実際に用いて、原理と活用方を習得。
- 11) NFC 組込み講座 [佐世保情報産業プラザ]**
- i) 期間 H24-6-19(火) 14:00~16:30
  - ii) 定員 20 名
  - iii) 場所 佐世保情報産業プラザ 1F 大会議室
  - iv) 内容 NFC とは 規格の概要。IC カードとの関係(SUGOCA,taspo・)について。Android 携帯での実情。NFC を使った機器の実例 / SONY の Felica 系通信チップを機器のマイコンを接続して、NFC 機能付き携帯との通信実験をデモします。

## IV 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

(H16 年度からキャリア形成促進事業および H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)を助成金支援事業(事務費 10%)として実施。

人材高度化能力開発事業は平成 12 年度を準備年度として、平成 13 年度から 3 年間にわたり、独立行政法人 雇用・能力開発機構の助成金によって、事業を展開し、平成 15 年度に完了した。平成 16 年度より、キャリア形成促進助成金、H23 年度より成長分野等人材育成支援奨励金に取組み、NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪である。

H24 年度末に日本再生人材育成事業(奨励金)ができたので、H25 年度研修に対応する認定申請手続きを積極的に推奨し申請の支援をした。

### ※キャリア形成促進 助成金および成長分野等人材育成支援 奨励金

IT 分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA 事務局もご支援のため、次のことを続けている。

H24 年度は下記を実施。

#### (1) キャリア形成促進助成金

##### 1) 助成金の申請書様式の計算式の追加搭載

労働局では実施されないため、変更に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では、申請様式に計算式を搭載してわかりやすくまとめ、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。また、支給申請の提出時のチェックリストを Nisa で作成し、会員へ通知した。

##### 2) 実施計画届書のチェック支援(H24-3~)

キャリア形成促進助成金は、初回申請は、研修を実施前であれば、何時でも良い(一般に 3 月である)。H23 年度から提出が労働局に変更になったのに伴い、初回申請は「訓練計画実施届」となり認定ではない。また、新規提出書類として「事業内職業能力開発計画書」(毎回提出)の作成要領書を作成し通知した。

「計画届」「支給申請」チェック等の支援を 23 社について実施した。

i) 認定申請共同チェック H23-3-8(木)~3-16(金)

##### 3) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の 10%:事務費)(H24-5、10・11)

計算式を入れた申請フォームを Nisa で作成し、認定企業に配布し、申請業務の合理化と共同チェックを実施した。

i) 支給申請共同チェック H24-05-7(月)~05-18(金)

ii) 支給申請共同チェック H24-10-29(月)~11-15(木)

#### (2) 成長分野等人材育成支援事業 奨励金

##### 1) 受給資格認定申請のチェック支援(H24-2~)

成長分野等人材育成支援(奨励金)は、H24 年度の事業として、健康・環境分野の人材育成の職業訓練の実施のためであるが、情報通信業分野の企業も対象である。



受給資格認定申請は、研修を実施する前であれば、何時でも良く、原則 1 年間(6 カ月でも可)。対象者は、入社または業務担当変更後、5 年以内の労働者である。H24 年 3 月より随時、申請のチェック支援を実施した。

**2) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の 10%:事務費)(各企業認定期間終了後)**

計算式を入れた申請フォームを Nisa で作成し、認定企業に配布し、申請業務の合理化と共同チェックを実施した。(7 社)

**(3) 日本再生人材育成事業 奨励金**

**1) 受給資格認定申請のチェック支援(H25-2~)**

日本再生人材育成支援事業(奨励金)は、健康、環境、農林漁業分野等(情報通信業を含む)において、雇用する労働者(非正規雇用の労働者を含む)に対して、一定の職業 訓練を実施した事業主や、被災地の復興のために必要な建設関係の人材育成を行った事業主は、奨励金を受けることができる。成長分野等奨励金との違いは、対象者は年限の規制はなく、支給限度が 500 万円である。H25 年 2 月より随時、申請のチェック支援を実施した。

**2) 支給申請は、H25 年度から実施。**

**(4) 留意点のメールによる配信と電話相談**

## V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進している。

これらの実現のためには、ICT 化に関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を一早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取り組みや施策の提案等を行う。

提供項目: ①研修・講座	.....	40 件	
②セミナー・シンポジウム	.....	58 件	
③報告会・講演会	.....	28 件	
④展示会	.....	3 件	
⑤政府および自治体からの通知等	.....	24 件	
⑥試験・コンテスト募集、その他	.....	8 件	
⑦関連団体(JISA・ANIA)情報	.....	95 件	計 258 件

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局、長崎県・市、長崎県産業振興財団からの情報をメールで配信。

①ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)

②JISA メール

③九州経済局からの情報

これらは、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。

④会員情報 など

### 主情報

- (1)長崎県工業技術センター 「ものづくり試作加工支援センター講演会」 H24-7-1 14:00~16:00
- (2)長崎県工業技術センター 第1回「先端技術導入促進セミナー」 H24-8-6(月) 13:30~17:40
- (3)長崎県工業技術センター 第2回「先端技術導入促進セミナー」 H24-10-31(水) 14:00~17:35
- (4)長崎県工業技術センター 第3回「先端技術導入促進セミナー」 H25-2-27(水) 14:00~17:40
- (5)長崎県工業技術センター 「電子情報技術セミナー」「LED セミナー」H24-9-20(木) 13:30~16:00
- (6)長崎県工業技術センター 「電子情報技術セミナー」「センサネットワーク」H24-10-10(水) 14:00~16:30
- (7)長崎県工業技術センター 「電子情報技術セミナー」「三次元LSI技術」 H25-2-5(火) 14:00~15:30
- (8)長崎県工業技術センター 第1回「長崎県産学官テクノフォーラム」 H24-12-4(火) 15:00~17:30
- (9)長崎県工業技術センター 第2回「長崎県産学官テクノフォーラム」 H25-3-12(火) 14:00~17:00
- (10)長崎県工業技術センター 第2回「品質工学セミナー」 H25-3-29(金) 14:00~16:00
- (11)長崎県工業技術センター 自動制御技術研究会 「組込みマイコン応用」 H25-2-22(金) 14:00~16:40
- (12)長崎県工業技術センター 自動制御技術研究会 「mbed を用いた組込み」 H25-3-25(月) 14:00~16:30
- (13)長崎県工業技術センター 「ものづくり加工技術セミナー」 H25-2-8(金) 13:30~17:00
- (14)長崎県工業技術センター 「H24 年度 長崎技術研究会活動報告会」 H25-2-20(水) 14:00~17:30

- (15)長崎総合科学大学 地域連携研究会  
「製品開発・事業に活かせるアイデアの発掘法」セミナーH24-4-13(金) 16:30～
- (16)長崎総合科学大学 地域連携研究会 「東長崎エコタウン構想の推進状況について」他  
H24-6-1(金) 16:30～
- (17)長崎総合科学大学 「再生可能エネルギー推進フォーラム in 長崎」、「緑の知の拠点事業」シンポジウム  
H25-2-16(土) 13:00～18:00
- (18)長崎総合科学大学 「新技術創成研究所公開講演会」 H23-10-1(土) 13:00～17:00
- (19)長崎総合科学大学公開講演会 「21世紀の科学技術」 H25-2-5(火) 13:00～17:00
- (20)長崎県産業振興財団 「Google Apps 活用セミナー」 H24-6-22(金) 14:00～16:00
- (21)H23 年度長崎県異業種連携・交流会(NIP)講演会  
「Facebook を活用したマーケティング戦略 ～Facebook 活用法～」H24-6-22(金) 18:00～19:30
- (22)理化学研究所 「スーパーコンピュータ「京」を知る集い in 長崎」 H25-1-26(土) 13:30～16:00

## VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有して、新製品・サービスの開発開拓に資することで、地域社会の発展につながることを目的とする。その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

### (1)事業内容

- 1)開催回数 : 2～4回/年
- 2)案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- 3)対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4)参加人数 : 40～80名

### (2)実施内容

- 1)通常総会時講演会 H24-6-28(金) ホテルセントヒル長崎
  - i)演題 : 「東日本大震災からの復興と事業継続計画(BCP)について」  
～無線通信の問題点と解決策を現実に沿った視点で展望する～
  - ii)講師(敬称略) : 西日本電信電話(株) 長崎支店 法人営業部長 宮本 浩人  
同 法人営業本部 ソリューションビジネス部 地域ITC推進グループ 担当部長 末吉 政宏  
(株)NTTドコモ 九州支社 長崎支店 技術サービス部長 濱田 景明
  - iii)概要 : 東日本大震災における復興支援の経験を踏まえ、震災を始めとする自然災害が発生した際に事業を継続させるため、今から準備しておかなければならないBCP対策について、ICTを活用したソリューションの紹介。
  - iv)聴講者 : 70名(会員62名+非会員8名)
- 2)新春講演会 H25-1-25(金) ホテルセントヒル長崎
  - i)演題 : 「マイクロソフトのクラウドビジネスへの取組みと『Office 365』を活用したビジネス革新」
  - ii)講師(敬称略) : 日本マイクロソフト(株)  
SMB 営業統括本部 クラウドパートナー営業本部 本部長 小山 剛司
  - iii)概要 : マイクロソフトのクラウドサービス『Office 365』を活用して、数多くのビジネス革新が進んでいます。多くのクラウドパートナーを担当している専任営業部門責任者が、クラウドを活用した働き方の変革やメリットについて、また導入する為の情報や注意点など、MS社内事例を交えての講演。
  - iv)聴講者 : 92名(会員64名+非会員28名)

## VII 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す

- (1)第1回 理事会(役員会) H24-4-26(木) 15:00～17:30、石井税理士事務所、議事録担当 小原手嶋理事  
役員以外の出席者:長崎県 上原課長、門司課長補佐、永峯係長
- 1)長崎県産業労働部 産業技術課との意見交換を実施
  - 2)H22年度仮決算(会計監査前):承認
  - 3)H24年度役員体制
    - ・平社長の次期会長就任について:承認
    - ・現役員は、井上理事、本多監事、赤城監事の3人以外は、企業としての重任を了解。
    - ・役員不足2名分を公募することに決定。
  - 4)H24年度通常総会の日程、講演会テーマ:下記承認

①日程:平成24年6月28日(木)

②講演会:NTT 西日本講師:法人営業部部长 宮本浩人様  
テーマ「東日本大震災からの復興と事業継続について(仮)」

③招待者:昨年度同様に人事異動後の方」を招待

- 5)平成 24 年通常総会等行事体制(6/28):承認
- 6)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業の実施:承認
- 7)九経局「クラウド等」補助金研修の実施:承認
- 8)H23 年度仮決算と仮法人税・仮消費税:承認
- 9)H24年度研修事業「IT 技術者のためのチームビルディング」研修日延期:承認
- 10)NISA NEWS 第 9 号の発行(総務委員会):承認
- 11)キャリア形成促進「助成金」及び成長分野等人材育成支援事業「奨励金」の案内と NISA の取組み:承認  
H23 年度同様(NISA 事務局が指導し、その事務経費負担)について、継続とする。

**(2)第2回 理事会(役員会)** H24-5-24(木) 15:00~17:30、石井税理士事務所、議事録担当 中野理事  
役員以外の出席者:長崎県 永峯係長

- 1)H24 年度役員体制(監事:酒井氏決定、新理事:野上氏推薦)
- 2)平成 24 年通常総会等行事体制(6/28):審議後 下記承認  
開催日:H23-6-24(金)、開催場所:ホテルセントヒル長崎
  - ①総合司会:浜本副会長、②議長は定款により、石橋会長、③23 年度活動報告担当:佐藤副会長、
  - ④会計監査結果報告担当:赤城監事、⑤24 年度活動方針説明:石橋会長、
  - ⑥講演会体制は中野理事のとりまとめ、⑦会員交流会の司会担当:須藤理事
 なお、⑤説明の前に、新旧会長の挨拶を行う。
- 3)H24 年度の方針、計画について説明と各委員の内容の充実:決定
- 4)H23 年度決算概要(監査 5/18 完了):赤城両監事から報告:承認

**(3)第3回 理事会(役員会)** H24-6-13(水) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 荒川理事(松井代理)  
役員以外の出席者:長崎県 永峯係長

- 1)通常総会議案書(一部修正を事務局・会長に一任):承認、
- 2)H24 年度役員体制:確認
- 3)交流会費 6,000 円:承認
- 4)平成 23 年通常総会等行事体制(6/28)前回承認済の内容:確認
- 5)平成 24 年度 ANIA 通常総会 出席者(新旧会長と新旧事務局長の 4 名):承認

**(4)第4回 理事会(役員会)** H24-6-24(金) 13:00~13:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 川口理事

- 1)平成 24 年通常総会等行事体制(6/28)再確認:承認
- 2)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業の研修2科目を「高度IT技術者育成事業」へ申請:承認  
・Objective-C によるアプリケーション開発入門/PHP(5.x)による Web アプリケーション開発
- 3)一般社団法人化に係わる「公益目的支出計画における公益目的財産額の確定」の申請完了:報告

**(5)第5回 理事会(役員会)** H24-7-31(火) 15:00~17:10、Nisa 研修室、議事録担当 平手理事  
役員以外の出席者:長崎県 永峯係長

- 1)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応について  
・地域連携事業について、JISA から 9/21 第 7 回の役員会で説明(約 1 時間)して頂くこと:決定  
・その後、この事業に対する NISA 体制確立と JISA 計画の立案することについて:承認
- 2)第 34 回全情連大会 ANIA 宮崎大会(11/8,9):紹介
- 3)H24 年度長崎県産業労働部の概要(県産業技術課・永峯氏):説明  
・長崎県産業労働部の施策説明会の Nisa 会員参加について、予め連絡頂くことに県の同意
- 4)「IT 融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト」に係る公募及び公募説明会について<<NEDO>>  
(県産業技術課・永峯氏):説明
- 5)長崎市未就職卒業者緊急就職支援事業」における未就職卒業者の職場実習の受け入れについて  
:適用企業が直接コンタクトする
- 6)ETソフトウェアデザインロボットコンテスト2012 九州地区大会の後援について(佐藤副会長説明):承認
- 7)MS 森中氏、MS 説明会開催について、企画委員会で検討:承認
- 8)入会「榊宝広告社」の承認(7/23 メールで賛否を問い役員全員異議なし):承認
- 9)Nisa パンフレット・ポスターの作成担当を総務広報委員会とすること:承認

**(6)第6回 理事会(役員会)** H24-8-30(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 野上監事

役員以外の出席者:長崎県 門司課長補佐、永峯係長、(情報政策課)有吉係長・森係長[下記 1)のみ]

- 1)「ながさき地域情報化研究会」の「ITC めぐりあい相談会」について(県、有吉係長・森係長):説明、意見交換
- 2)「今後の情報産業振興について」(県産業技術課・永峯氏):説明、意見交換
- 3)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応について(前回承認):確認
- 4)2012 年度ソフトウェア産業の実態把握に関する調査へのご協力依頼 <<IPA>>協力について:承認
- 5)第 34 回全情連大会 ANIA宮崎大会(11/8, 9 開催)の参加者募集(参加費・懇親会費は協会負担):説明
- 6)MS 森中氏、MS 説明会開催:継続検討
- 7)Nisa パンフレット・ポスターの作成、アルミ枠に入れ会員へ送付:承認  
構成の見直しについては、総務広報委員会・事務局で一任
- 8)ANIA表彰推薦(石橋直前会長):承認
- 9)NISAニュース第 10 号の発行(総務広報委員会で作成):承認
- 10)ANIA平成 24 年度 第2回理事会への出席 平会長・故島事務局長:承認

**(7)第7回 理事会(役員会)** H24-9-21(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 須藤理事  
役員以外の出席者:長崎県 永峯係長

- 1)H24 年度 JISA 地域活性化事業[(2)高度化と(3)IT 技術者育成]交付金総額が決定し下記を検討
  - ①「産学官連携のための地域活性化促進講演会」演題と講師の検討担当を企画委員会とする:承認
  - ②参加者への広報と勧誘を総務広報委員会で起こすこと:決定
- 2)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応を企画委員会で検討:承認  
・一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) 広報サービス部長 兼 企画調査部長 手計 将美氏に、  
「H23 年度地域連携について」を元に説明いただき、後意見交換実施。
- 3)入会「株ユースフル」の承認 (9/12 メールで賛否を問い役員全員異議なし):承認
- 4)Nisa パンフレット・ポスターの作成、総務広報委員会提示案について:承認
- 5)JISA 九州・沖縄地区会 出席者:平会長:承認

**(8)第8回 理事会(役員会)** H24-10-26(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 井川理事  
役員以外の出席者:長崎県 門司課長補佐

- 1)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応について  
・企画内容をより具体化するための審議メンバーを選出し、そのメンバーで申請書をまとめること:決定  
審議メンバー:平会長、佐藤副会長、企画委員会・中野企画委員長(取纏)、野上企画委員、井川企画委員
- 2)H24 年度 JISA 地域活性化事業「(3)IT 技術者育成」講師と日程を決定、特段の募集対策はしない:承認  
・「PHP 5.x による Web アプリケーション開発」(1/30・31)  
・「Objective-C によるアプリケーション開発入門」(2/8・9)
- 3)平成 25 年新春講演会(1/25)テーマの検討を企画委員会でやり次回役員会で提示:承認
- 4)平成 25 年新春「わが社の一押し」(1/25)発表企業について下記 2 社候補について:承認  
リコージャパン(北村理事)・協和機電工業(野上理事)の了解あり
- 5)「IT 融合化講演会 in Nagasaki ～スマートタウンの中での IT 融合化の推進～」開催について  
<<ES-Nagasaki>> (佐藤副会長):説明  
・NISA会員に「協賛金お願い」文書を通ずること:決定  
・NISAの諸費用として 1 万円を上限に支出するが、計画の 10 万円の賛同があった場合は支出はしない。
- 6)入会「日本コンピュータ・ダイナミクス(株)長崎営業所」の承認(9/26 メールで賛否を問い役員全員異議無):承認
- 7)Nisa パンフレット作成 について検討し意見をもとに案の作成:決定
- 8)H24 年度前期キャリア助成金及び成長分野等奨励金の支給申請共同チェック開始:事務局説明
- 9)考える有限会社の会員資格の喪失について:承認  
H22 年度より 3 年間の年会費納付がなく、事務局からコンタクトを行うが全くレスポンスがない。本来なら、2 年間で会員喪失となるが、会員として継続いただくことが、考えるにとっても重要であり、会員維持の為にも、継続して接納を試みてきた。その後も返事が無く、「定款第 10 条(1)項に基づき、会員資格喪失はやむを得ない。

**(9)第9回 理事会(役員会)** H24-11-29(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 梁瀬理事  
役員以外の出席者:長崎県 門司課長補佐

- 1)平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応について  
設立準備委員会を企画委員会で検討:継続審議
- 2)第 2 回地域連携推進会議開催への出席 企画委員・井川理事:承認
- 3)平成 24 年新春講演会 テーマと講演者(平会長紹介):承認
- 4)平成 25 年新春「わが社の一押し」発表企業:下記決定  
①株ユースフル ②リコージャパン(株)長崎支社

- 5) 平成 25 年度新春講演会・わが社の一押し・交流会体制: 下記承認
  - ①講演会司会担当: 企画委員会、②わが社の一押し(交流委員会) 司会担当: 交流委員会
  - ③産学官交流会(交流委員会) 司会担当: 交流委員会
- 6) 平成 25 年新春産学官交流会のご招待者: 承認
- 7) 「IT 融合化講演会 in Nagasaki ～スマートタウンの中での IT 融合化の推進～」
 

開催について <<ES-Nagasaki>>協会関係者の参加の要請(佐藤副会長): 追加参加確認  
・協賛金負担について、計画の 10 社の賛同があったので、NISA は負担しないこととした。
- 8) 入会「(株)アドミン」の承認 (10/30 メールで賛否を問い役員全員異議なし): 承認
- 9) Nisa パンフレット作成 について(案の一部修正で作成): 承認
- 10) IT 企業におけるブリッジ SE 育成に関する調査協力について <<ANIA>>(協力下記企業): 決定
  - ①ケービーソフトウェア ②長菱ソフトウェア
- 11) H25 年度研修計画(案): 承認
- 12) 恒例のエンベックス社提携新人研修説明会の開催: 承認
- 13) ANIA 新春交流会(2/7 開催)への出席者: 承認

**(10) 第 10 回 理事会(役員会)** H24-12-19(火) 15:00～17:30、石井税理士事務所、議事録担当 扇理事  
役員以外の出席者: 長崎県 永峯係長

- 1) ジョブ・カード制度の説明  
長崎地域ジョブ・カードセンター 室長 <sup>おとなぎ</sup> 音潮 様 / 県中央会 総務情報課 係長 野村 様
- 2) 平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]体制立上げ: 承認
- 3) 平成 25 年新春講演会 テーマと講演者(企画委員長): 下記決定  
タイトル: マイクロソフトのクラウドビジネスへの取組みと『Office 365』を活用したビジネス革新
- 4) 平成 25 年新春「わが社の一押し」発表企業: 下記決定
  - ①(株)ユースフル 「省人・省エネ対策のシステム構築」
  - ②リコージャパン(株)長崎支社「クラウドを活用したリコーのユニファイドコミュニケーション統合ツールについて」
- 5) 平成 25 年度新春講演会・わが社の一押し・交流会体制 (前回決定): 下記決定  
講演会の司会担当: 中野理事。わが社の一押し、産学官交流会の司会: 須藤理事
- 6) 平成 25 年新春産学官交流会のご招待者の決定: 承認
- 7) 入会「第一印刷(株)」の承認 (12/14)メールで賛否を問い役員全員異議なし): 承認
- 8) Nisa パンフレット作成 について: 承認
- 9) H25 年度研修計画(案): 承認
- 10) 『成長分野等人材育成奨励金』を活用した 2013 年度 技術系新入社員研修 説明会: 説明周知
- 11) 平成 25 年度「成長産業・企業立地促進等事業費補助金」の交付先の公募について(下記): 承認  
人材育成事業については、熊本ソフトウェアが継続事業として申請するので、本年度同様に共催

**(11) 第 11 回 理事会(役員会)** H25-1-25(金) 13:30～14:20、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 若杉理事

- 1) 平成 25 年新春「わが社の一押し»: 確認
- 2) 平成 25 年新春講演会(中野企画委員長): 確認
- 3) 平成 25 年 産学官交流会(須藤委員長): 確認
- 4) 平成 25 年度 NISA 研修計画(案)(研修委員会): 承認

**(12) 第 12 回 理事会(役員会)** H25-3-1(金) 15:00～17:30、Nisa 研修室、議事録担当 小原扇事

- 1) 「ニアショア取組みへの協力の依頼について」(荒川理事): 説明・意見交換  
富士ソフト(株) システム事業本部 アライアンス戦略推進部 部長 磯 様  
エリア事業本部 アライアンス戦略推進部 課長 谷口 様
- 2) 厚労省事業の奨励金・助成金制度の案内と NISA の取組み: キャリア助成金方式の継承: 承認  
「日本再生・成長分野等奨励金」の事務費について、H25 年度支給申請分から事務局提案の「10%→4%にする」ことに対し、全員異議なく満場一致で決定した。なお、キャリア助成金は、従来通り 10%を継続する。
- 3) 委員会の状況報告と来年度の各委員方針と運営の提出(3/19): 下記承認  
委員長は、3/19 までに事務局へ連絡する。
- 4) 特例民法人の解散登記と一般社団法人への移行登記の件: 下記承認  
4/1 登記を確実に完了するために、司法書士に委託する。  
現法人の理事・監事は、任期満了の H24 年 6 月 28 日までとして、引続きその任に当たることを確認した。
- 5) 決算 予想と対策: 承認
- 6) 平成 24 年度 JIISA 地域活性化事業[(1)地域連携]への今後の対応について: 下記承認

- ・第一回連絡会議は、3/19(金)に宮城県情報サービス産業協会 常務理事・穴沢氏を招き、立上・運営等の問題点、その解決法等を話して頂き、設立運営の参考とする。
  - ・長崎工業会参加者は、Nisa 会員で工業会会員でもある企業をベースとする。
  - ・長崎工業会の事務局への連絡会議 開催の説明は、事務局が行う。
- 7) 入会「(株)ヒューマンウェイブ」の承認 (2/18)メールで賛否を問い役員全員異議なし):承認  
 8) 入会「長崎バス情報サービス(株)」の承認 (2/20)メールで賛否を問い役員全員異議なし):承認

**(13) 第 13回 理事会(役員会)** H25-3-28(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 中野理事  
 役員以外の出席者:長崎県 永峯係長

- 1) H25 年度通常総会 岡理事の後任の推薦・公募について:承認
- 2) H24年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等検討・決定:検討継続  
 なお、日程・場所(ホテルセントヒル長崎)および講演会テーマ講師を企画委員会で提案:承認
- 3) 厚労省事業のキャリア助成金・奨励金制度の大変更とその内容と対策:確認
- 4) NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員会方針と運営の策定と決定(4/19 提出):承認
- 5) 決算 予想と対策 (3/28 時点の予想):承認
- 6) NISA-SNS「もろもろマッチング or 何でもマッチング(仮称)」NisaHP 上に開設::承認  
 ・HP へ開設は、現在の HP を立上げ、メンテナンスを行っている PAL 構造が最適であることを確認し PAL 構造に依頼することを決定
- 7) NISA NEWS 第 10 号の発行(総務委員会):承認
- 8) 入会「(株)フロンティア・ホールディングス」の承認 (3/8)メールで賛否を問い役員全員異議なし

